

第149回 進化の証拠2

■発生反復説について説明せよ。

- ・ ヘッケル
- ・ 個体発生は系統発生を繰り返す
- ・ ヒトの退治の鰓孔（えらあな）
- ・ ニワトリの胚発生における窒素排出の変化：アンモニア→尿素→尿酸

■その他の発生学上の、進化を示唆する事実を述べよ。

- ・ 環形動物と軟体動物の幼生は、いずれも「トロコフォア幼生」という極めてよく似た形態である

■相同器官,相似器官,痕跡器官について、例を挙げて説明せよ。

- ・ 相同器官：外見や働きが異なっているが、根本的な解剖学的構造や発生学的な起源が一致している器官
- ・ 脊椎動物の前肢,カラタチのとげとヤマノイモのむかご etc
- ・ 相似器官：外見や働きが似ているが、根本的な解剖学的構造や発生学的な起源が異なる器官
- ・ コウモリの翼とチョウの羽,サツマイモとジャガイモのいも etc
- ・ 痕跡器官：近縁の生物では機能を持つが、その動物においては痕跡的で働きが不十分な器官。このような退化も進化の一つである
- ・ ヒトの犬歯,虫垂,動耳筋 etc